

# 連携だより

平成29年 7 月号

平成29年7月1日発行



独立行政法人 国立病院機構   
呉医療センター・中国がんセンター  
地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1  
TEL 0823-22-3816  
FAX 0823-32-3070

URL <http://www.kure-nh.go.jp/>  
E-mail [renkei@kure-nh.go.jp](mailto:renkei@kure-nh.go.jp)

理念  
相手の心情に寄り添う愛のある医療を笑顔で実践します  
Practice medicine from the heart,  
create smiles every day

運営方針  
LOVE and SMILES

## 内分泌・糖尿病内科紹介

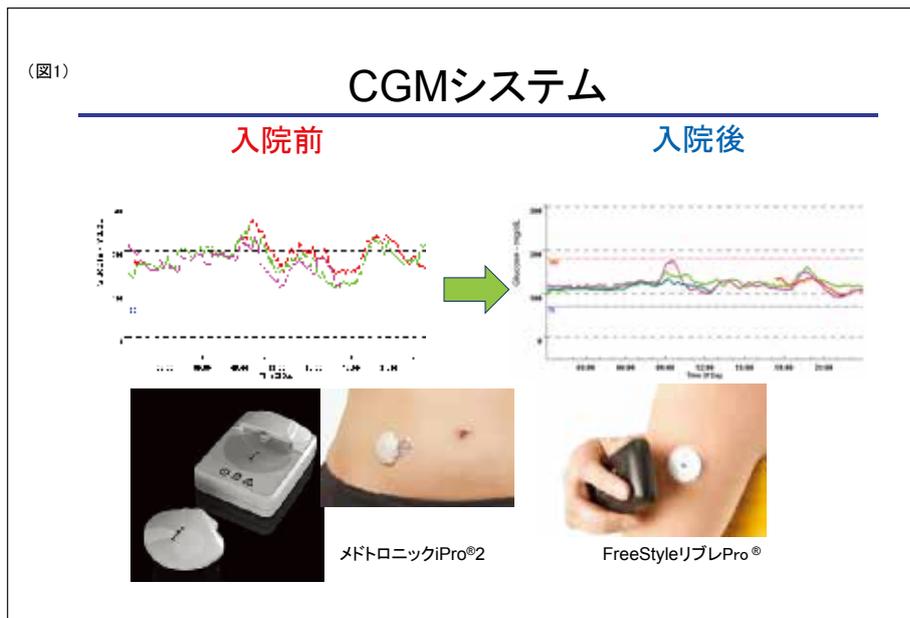
この度、呉医療センター・中国がんセンター 内分泌・糖尿病内科へ科長として着任いたしました久保田益亘と申します。呉地区における内分泌・糖尿病疾患の診療に少しでも貢献できればと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。現在、内分泌・糖尿病内科では、吉井陽子先生（私と同時に広島大学病院より当院へ着任）と佐川純司先生（勤務3年目）が私と共に勤務しています。また、日本糖尿病療養指導士（CDEJ）、広島県糖尿病療養指導士（HiroshimaCDE）の資格を持つ看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、検査技師による多職種スタッフが互いに協力し、糖尿病診療を行っています。糖尿病患者が主に入院するのは4B病棟です。濱咲真理子病棟師長のもと、明るくしっかりした病棟看護師さんが、丁寧に糖尿病患者さんの指導をされており、主治医と患者さんに関する意見交換も活発に行っています。病棟薬剤師はインスリン注射指導、服薬指導を行っており、症例カンファレンスにも参加して、非常に心強い存在です。

糖尿病は病態が多様であり、患者さんの年齢、臓器合併症、仕事、家庭環境、認知機能などにより、最良の治療が患者ごとに異なることが多いのが特徴です。また、呉地区の糖尿病患者は、他地区と比較して、高齢者が多く、血糖コントロールが難しく、多彩な合併症を有していることが多いと感じています。糖尿病治療は、長期に亘って患者と共に継続する必要があり、患者さんに能動的に参加していただかなくは治療がうまくいきません。そのため、重度の糖尿病患者に対しては、かかりつけの先生からご紹介いただいた後、入院精査し、多職種スタッフと共に個別の治療方針を決定し、糖尿病の教育を同時に行い、退院後はかかりつけの先生との病診連携を積極的に行いたいと考えています。また、内分泌疾患の中でも頻度の高い甲状腺機能亢進症（バセドウ病）の患者さんに対しても、同様に病診連携を推進したいと考えています。今回は、そのために、当科で取り組んでいる治療法を紹介します。

## 患者さんに血糖変動を見てもらい、問題点を把握してもらう

従来、外来受診時や入院中、自分の血糖コントロールは、自己血糖測定値とHbA1c値を用いて管理していました。もちろん、今後もこれらは血糖コントロールのための重要なツールであり続けるでしょう。それらに加え、近年、持続血糖測定器（CGM）を導入できるようになり、血糖コントロールの問題点を細やかに把握することができるようになりました（図1）。この検査のメリットは、1

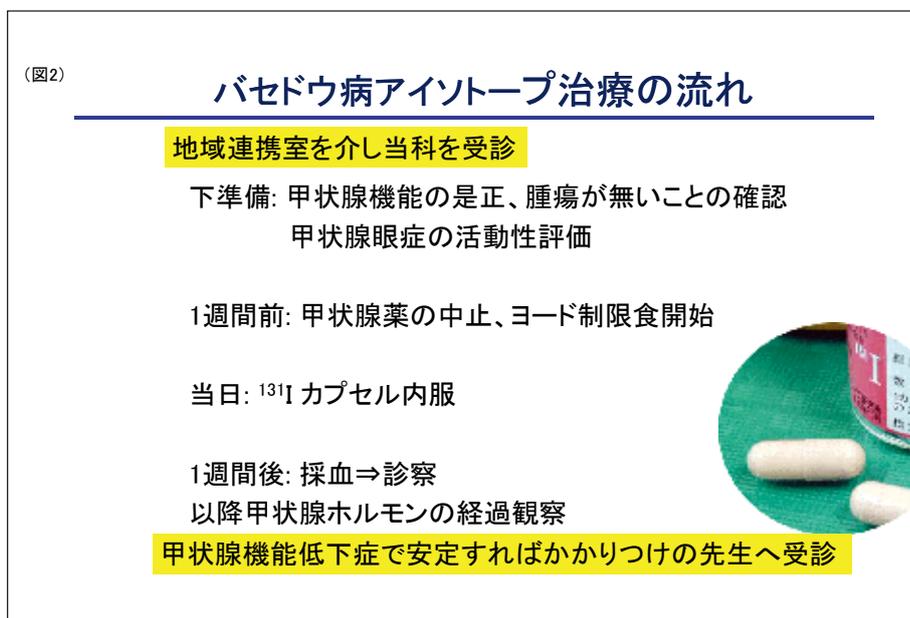
日の血糖推移を「点」ではなく連続した「線」として把握することで、食後血糖値の上昇幅や夜間就寝中の低血糖のチェックを行うことができます。当科では、特に血糖コントロールが難しい患者さんにおいてCGMを活用し、患者さんにその結果を手渡すことで、自分自身の血糖コントロールのどこに問題があり、どこを是正すべきかについて、一緒に考えていただきます。CGMを活用することで、医師患者関係がより前向きなものになると感じています。



## バセドウ病に対するアイソトープ治療

当院は、バセドウ病に対するアイソトープ治療 ( $^{131}\text{I}$  内用療法) を呉医療圏で唯一施行できる施設です (図2)。国内では初回治療としての選択率は低いですが、米国では初回からアイソトープ治療を行うことが多く、比較的安全な治療として認知されております。アイソトープ治療の適応者として、チアマゾールやプロピルチオウラシルなどの抗甲状腺薬を長期に内服してもバセドウ病の寛解が得にくい場合、抗甲状腺薬による重症蕁麻疹や無顆粒球症、肝障害などの副作用が生じたケースがあげられます。一方で、施行前に、女性であれば妊娠出産の計画や甲状腺腫瘍が無いこと、甲状腺眼症の活動性がないことの確認を行う必要があります。アイソトープ治療後は、甲状腺ホルモン動態が不安定となるため、しばらく当科の外来で慎重に経過観察し、投薬調整を行います。その後は、50-70%の患者さんが、甲状腺の縮小により、甲状腺機能低下症へ移行します。バセドウ病のアイソトープ治療は、バセドウ病を確実に寛解させ、甲状腺機能低下症へ移行させることが治療のゴールです。甲状腺機能低下症へ移行した場合は、甲状腺ホルモン剤 (チラーヂンS) を服用することになります。難治性のバセドウ病や抗甲状腺薬による副作用が生じた患者さんがいましたら、当科へご紹介ください。アイソトープ治療の適応かを判断し、適応例に対して治療を施行いたします。甲状腺機能低下症へ移行し、甲状腺ホルモン剤の補充によりホルモン動態が落ち着いた後に、かかりつけの先生へ通院していただくという病診連携を行うことができると考えています。

今後とも当センターにおける内分泌・糖尿病患者さんの診療へ微力ながら努力精進する所存ですので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## 消化器合同オープンカンファレンス

日時 平成29年 **7月5日 (水)** 19:00~

場所 呉医療センター・中国がんセンター 研修センター1. 2

演題 「肝・胆・膵及び上部下部消化管を対象疾患とし、  
画像診断から手術・病理診断まで担当各科で検討」

症例1：SMT様の残胃癌に対して残胃全摘術を施行した1例

症例2：肝門部胆管癌に対して肝左葉切除・尾状葉切除・  
肝外胆管切除術を施行した1例

## 内科オープンカンファレンス

日時 平成29年 **7月27日 (木)** 19:00~

場所 呉医療センター・中国がんセンター 研修センター1. 2

医長講義 消化器内科医長 桑井 寿雄

症例1：神経内科医師 倉重 毅志 医師

## 地域医療研修センター定期講演会

日時 平成29年 **7月19日 (水)** 19:00~

場所 呉医療センター・中国がんセンター 研修センター1. 2

演題および演者 「心血管カテーテル治療のnew standard」

循環器内科科長 杉野 浩

## 救急外来へのご紹介について

救急車で搬送する患者さんのご紹介は、救命救急センター医師が症状等を直接お伺いさせていただきますので、「救急外来受付」まで電話でご連絡いただきますようお願い申し上げます。

平日 昼間 8:30~17:15 0823-22-3111

土・日および夜間 17:15~8:30 0823-23-1020



### がんサロンのご案内

日時：7月14日 (金) 14:00~15:00  
内容：「知っていますか  
放射線治療のこと」  
場所：外来棟4階 第3研修室

### 乳がんサロンのご案内

日時：7月27日 (木) 14:00~15:00  
場所：外来棟4階 第3研修室  
内容：「薬の副作用と費用について」

## PETだより (No.25)

- ・肺癌シリーズの6回目です。今回はPETの限界についてお話します。
- ・肺腫瘍を悪性と疑った場合に、それが原発性肺癌か転移性肺癌かの判別がPETではなかなか難しいという現実があります。
- ・以下に提示する2症例はいずれも他臓器癌の手術歴のある方ですが、経過観察中に認めた肺腫瘍にPETを施行しても原発性か転移性かの区別は困難でした。
- ・現時点では腫瘍マーカーやCTによる形態や数などの評価が基本とならざるを得ないと思われま  
す。このため今回提示した2症例のように肺腫瘍が単発である場合は、その判別に苦慮することが  
多い印象です。

予約は当院の地域連携室を通してお願い致します。

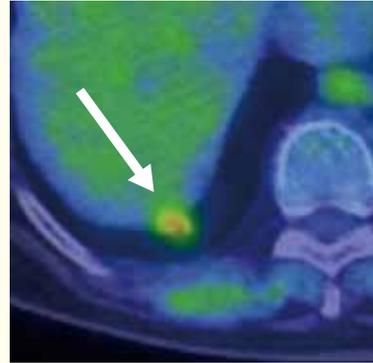
放射線診断科科長 豊田 尚之

### 図説明

図A



図B

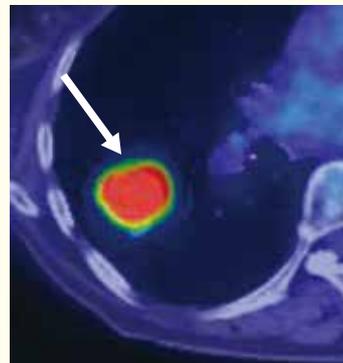


80歳代女性、原発性肺癌（胆嚢癌の手術歴あり）。  
図A：CT横断像。右下葉末梢に直径15mm大の単発性腫瘍を認める（黒矢印）。  
図B：PET-CT。同腫瘍内にSUVmax 4.2のFDGの集積を認める（白矢印）が、  
原発性肺癌か胆嚢癌の肺転移か判別は困難である。組織学的に原発性肺癌  
（高分化腺癌）と診断された。

図C



図D

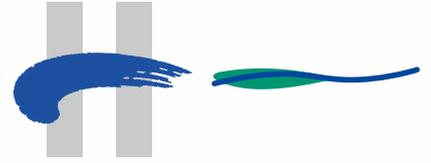


80歳代女性、転移性肺癌(乳癌の手術歴あり)。  
図C：CT横断像。右下葉に直径28mm大の単発性腫瘍を認める(白矢印)。  
図D：PET-CT。同腫瘍内にSUVmax11.0のFDGの集積を認める(白矢印)が、原  
発性肺癌か乳癌の肺転移か判別は困難である。組織学的に以前に手術した乳  
癌からの転移性肺癌と診断された。





2008  
K-INT  
Starts



# Advances in Cancer Therapy Over the Next Ten Years

## THE 10th KURE INTERNATIONAL MEDICAL FORUM (K-INT) in 2017

Date: July 13-15, 2017

Venue : National Hospital Organization  
Kure Medical Center / Chugoku Cancer Center

President : Kiyomi Taniyama

第10回 呉国際医療フォーラム

- 会長:谷山 清己(院長)
- 開催期間:2017年7月13日(木)~15日(土)
- 会場:呉医療センター4F 地域医療研修センター
- 開催:国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター ●後援:広島大学大学院医歯薬保健学研究所

【問い合わせ先】 〒737-0023 呉市青山町3-1 国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター内 呉国際医療フォーラム事務局  
TEL : 0823-22-3111 FAX : 0823-22-3273 <http://www.kure-nh.go.jp/k-int/>

第 10 回呉国際医療フォーラム

The 10th Kure International Medical Forum (K-INT)

がん治療の進歩；10年後への展望

Advances in Cancer Therapy Over the Next Ten Years

2017年7月13日(木曜日)14日(金曜日)、15日(土曜日)

独立行政法人国立病院機構

呉医療センター・中国がんセンター4階

地域医療研修センター1・2

〒737-0023 呉市青山町3-1 Tel:0823-22-3111, Fax:0823-21-0478

<日程表>

7月13日(木曜日)

- |    |                       |               |
|----|-----------------------|---------------|
| 1) | 院内ラウンド                | 10:00 – 11:30 |
| 2) | 呉医療技術センター視察           | 14:00 – 15:00 |
| 3) | 看護学生特別授業              | 15:30 – 16:30 |
| 4) | International Lecture | 16:45 – 17:15 |
| 5) | ポスターセッション (前半)        | 16:00 – 20:00 |
| 6) | イブニングセミナー             | 19:00 – 20:00 |

7月14日(金曜日)

- |    |           |               |
|----|-----------|---------------|
| 7) | ランチョンセミナー | 12:00 – 13:00 |
| 8) | 開会式       | 16:30 – 17:00 |

祝辞	呉市長(予定)	小村 和年
	呉市医師会長(予定)	原 豊
	広島大学大学院医歯薬保健学研究院	研究院長
		安井 弥
開会宣言	第10回 K-INT 会長	谷山 清己

- |    |                   |                  |
|----|-------------------|------------------|
| 9) | 第10回 K-INT 開催を祝って | 17:00 – 17:25    |
|    | K-INT 応援          | 呉医療センター附属看護学校応援団 |
|    |                   | 呉市民ボランティア        |

- 10) シンポジウム 1 "Advances in Pediatric Cancer"

17:30 – 18:15

1 1) イブニングセミナー 19:00 - 20:00

## 7月15日(土曜日)

1 2) 午前の部  
病理セッション 9:00 - 10:15

休憩

シンポジウム 2 "Advances in Translational Research"

10:30 - 11:30

1 3) ポスターセッション (後半) 11:30 - 12:00

1 4) ランチョンセミナー 12:00 - 13:00

1 5) 全体写真 13:00 - 13:15

1 6) 午後の部  
シンポジウム 3 "Advances in Diagnosis and Treatment"  
13:30 - 14:45

休憩

シンポジウム 4 "Advances in Endoscopy"

15:15 - 16:15

1 7) 閉会式 16:15 - 16:20

第10回 K-INT 副会長 森脇 克行

## 7月16日(日曜日)

1 8) オプションツアー (地域医療視察) 9:00 - 17:00

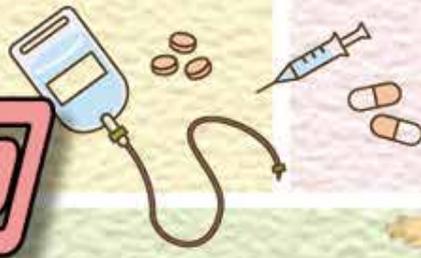
討論会 “第11回 K-INT にむけて”

座長 K-INT 事務局長 山下 芳典

### 備考

- ・公用語は英語です  
(開会式祝辞の一部、イブニング、ランチョンセミナーは日本語)
- ・参加事前登録を推奨します (参加費 3,000 円、当日参加可能)
- ・問い合わせ先 呉国際医療フォーラム事務局担当：岸田  
〒737-0023 呉市青山町 3-1  
Tel:0823-22-3111, Fax:0823-22-3273

# 第88回



# 「がんサロン」のお知らせ

内容

知っていますか  
放射線治療のこと

講師

がん放射線療法看護  
認定看護師

益本

京美

日時

平成29年7月14日(金)  
14:00~15:00

場所

呉医療センター外来棟4階  
地域医療研修センター第3

※ 申し込み 不要

院内外問わず、どなたでも参加は自由です。

< お問い合わせ先 >

呉医療センター・中国がんセンター がん相談支援センター  
☎ 0823(24)6358 (直通)



# 心血管カテーテル治療の new standard

**日時** 2017年 7月 19日 (水) 19:00~20:00

**場所** 呉医療センター・中国がんセンター  
管理棟4F 地域医療研修センター1・2

◆ **座長** 呉医療センター・中国がんセンター  
心臓血管外科科長・心臓センター部長  
**今井 克彦**

◆ **講師** 呉医療センター・中国がんセンター  
循環器内科科長・心臓センター副部長  
**杉野 浩**



40年の歴史をもつ心血管カテーテル治療は、成熟期を迎えている。治療の質を担保するための、冠血行動態の機能的評価、画像検査modalityの進化、初期成績向上のための両方向アプローチ、長期成績向上のためのステントレスstrategyについて報告する。

◆当講演会は、院内外を問わず、医療関係者すべての方を対象とさせていただきます。お気軽にご参加ください。



# 第16回

# 「乳がんサロン」のお知らせ

乳がん患者さんとその家族のためのサロンです。  
お気軽にご参加ください。

勉強会後におしゃべりもしませんか。



内容 薬の副作用と費用について

講師 乳腺外科 尾崎 慎治 先生

日時 平成29年7月27日(木)

14:00~15:00



場所 呉医療センター 外来棟4階  
地域医療研修センター第3

院内外問わず、どなたでも参加できます。  
お気軽にお越しください。

お問い合わせ

呉医療センター 中国がんセンター がん相談支援センター  
☎ 0823(24)6358 (直通)

# 7月の時間外 研修会/勉強会



【連絡先】  
独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 管理課 庶務係（教育企画室）  
広島県呉市青山町3番1号 / TEL: 0823-22-3111 / E-MAIL: yf : http://www.kure-nh.go.jp/



研修会名	日時	場所	講師 ※敬称略	担当部署	院外参加	対象職種
接遇研修	7月4日 (火) 18:00~19:00	地域研修センター1・2	(株)エハルス	患者環境等サービス委員会	院内向け	全職種
消化器合同オープンカンファレンス 肝・胆・膵及び上部消化管がんを対象とした、画像診断から手術・病理診断まで担当各科で後援。	7月5日 (水) 19:00~	地域研修センター1・2	呉医療センター・中国がんセンター 消化器内科 外科 放射線診断科 病理診断科	消化器内科	○	全職種
院内内視鏡セミナー 「内視鏡の看護・介助」	7月7日 (金) 18:00~19:00	地域研修センター1・2	呉医療センター・中国がんセンター 消化器内視鏡技師 藤本 利絵	消化器内科	院内向け	初期研修医 看護師 コメディカル
コメディカルのお薬勉強会 「前立腺癌の治療薬について」	7月10日 (月) 18:00~19:00	11F大会議室	呉医療センター・中国がんセンター 薬剤部 川成 昂	薬剤部	院内向け	看護師 助産師 コメディカル
メンタルヘルス研修	7月11日 (火) 18:00~19:00	地域研修センター1・2	呉医療センター・中国がんセンター 精神科科長 竹林 実	管理課	院内向け	全職種
そこが知りたい!! 救急看護 「これであなたも簡単に報告できる。やさしく学べる血液ガス」	7月14日 (金) 18:00~19:00	11Fカンファレンスルーム	呉医療センター・中国がんセンター 救急看護認定看護師 松尾 直樹	看護部	院内向け	全職種
地域医療研修センター定期講演会 「心血管カテーテル治療のnew standard」	7月19日 (水) 19:00~20:00	地域研修センター1・2	呉医療センター・中国がんセンター 循環器内科科長 杉野 浩	地域連携室・管理課	○	全職種
ME機器安全使用に関する研修 「人工呼吸器」	7月20日 (木) 17:30~18:00	医療技術研修センター	COVIDEN 林 敦英 先生	ME管理室	院内向け	全職種
BLS(一次心肺蘇生法) 「CPR(心肺蘇生)」「AED(自動体外式除細動器)」	7月24日 (月) 17:45~19:05	呉医療技術研修センター	呉医療センター・中国がんセンター 蘇生教育チーム	呉医療センター 蘇生教育チーム	院内向け	全職種 ※事前申込要 即応先: 技術研修センター 高浜
内科オープンカンファレンス	7月27日 (木) 19:00~20:00	地域研修センター1・2	呉医療センター・中国がんセンター 医長講義 消化器内科医長 桑井 寿雄 症例1. 神経内科 医師 倉重 毅志	内科	○	医師(初期研修医含む)
第3回 TCSA勉強会 「クリティカルパスについて」 「口腔ケアについて」	7月31日 (月) 18:00~19:30	地域研修センター1・2	呉医療センター・中国がんセンター クリティカルパス委員会 歯科・口腔外科	栄養管理室	○	全職種



自己研鑽で専門性を高めましょう!

## 地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1

独立行政法人 国立病院機構

呉医療センター・中国がんセンター

中野 喜久雄 清水 洋祐  
森下 早苗 河野 由佳  
折本 陽一

TEL: (0823) 22-3816

